

# 令和4年度 武生東高等学校 学校関係者評価書

(問)

- ① スクールプランの重点目標についての成果と分析内容は適切か。
- ② 成果と課題を踏まえた令和5年度に向けた改善策・向上策は適切か。

評価者 PTA役員 ( 副会長2名 )

## 重点目標1:教育課程・学習支援

①・重点目標についての成果と分析内容は適切だと思う。  
・適切。タブレットの活用が進んでいてよい。年間スケジュール化等によって、生徒の情報収集、発信をさらに支援できるとよい。

②・成果と課題を踏まえた改善策・向上策は適切だと思う。しかしアンケート(教員)14の質問に対し、「思わない」との回答もあるためタブレットの効果的な使用は向上させていく必要があると思う。  
・適切。いろいろな教科で、タブレットが広く活用できるようになるとよい。コロナ禍が収束した後にも、必要に応じてタブレットを活用されるとよい。

## 重点目標2:進路支援

①・重点目標についての成果と分析内容は適切だと思う。  
・適切。進路支援活動では、いろいろなアプローチをされており、たいへんよい。少しずつでも、今後もいろいろな広がり期待できそうです。

②・成果と課題を踏まえた改善策・向上策は適切。  
・適切。いろいろな外部の情報を、できるだけ生徒に公平に提供できるとよい。

## 重点目標3:生徒支援

①・重点目標についての成果と分析内容は適切だと思う。  
・適切。現状の問題点については、引き続き取り組みを行っていくのがよい。保護者50%は、あまり伝わっていないようだ。

②・改善策・向上策については、aの項目について「周りからの助言が必要。」とあるが、生徒が保護者に相談したとしてもどこまで助言していいのかわからない場合があると思うので、教員と保護者でも相談の場があってもいいと思う。  
・適切。コロナ禍であったため、先輩－後輩の繋がりが、どうあるべきか(今までの高校生活の中ではどんな形であったのか)分からない点があったと推察される。今後、コロナ禍収束時には、あらたな繋がりが構築されることを期待する。

## 重点目標4:グローバル、サイエンス、SDGs

①・重点目標についての成果と分析内容は適切だと思う。  
・適切。今後の世の中でも、たいへん重要な要素かつ取り組みであり、継続的な粘り強い活動が必要かと感じます。

②・成果と課題を踏まえた改善策・向上策は適切。  
・適切。いろいろなコースが設けられてよい。

## 重点目標5:外部との連携

- ①・重点目標についての成果と分析内容は適切。
  - ・適切。HP(ホームページ)の活用と、ペーパーレス化の対応をセットで、推進されるとよい。
- ②・成果と課題を踏まえた改善策・向上策は適切。
  - ・適当。連携が広く深くなってきており、今後の発展に期待する。

## 全体総括

- ・コロナ禍の影響もあり保護者が学校活動に対して周知できていない箇所が多かったように思う。PTA活動等を通じて学校に来る機会を増やすことも必要だ。
- ・アンケート集計結果は全体的に良好な回答が多い。当校に入ってよかったというような回答が総じて多い。
- ・気になったのはアンケート集計の際の、集計母集団でやや偏りがある問いがあった点。できるだけ、均質の母集団としたほうがよい。
- ・今後もPTAとしてご支援できる点があれば協力する。

## (学校関係者評価を踏まえた今後について)

- ・コロナによる各種制限のなかでの本校の取り組みにういて、概ね妥当、適切との評価をいただいた。  
今後、タブレットを効果的に活用しつつ、教科連携も取り入れながら授業改善に努めていく。
- ・進路指導では、昨年好評であったPTA主催のキャリア講座を、対象学年を拡大して実施することを検討する。
- ・生徒支援については、コロナで希薄になった学年間のつながりを築けるよう支援していく。また、保護者の相談にも対応できるよう、保護者会やPTA総会等の機会を利用していく。
- ・持続可能か社会の実現にむけて、自身の興味と適性を見つめ、ひとりひとりが進路の実現できるよう授業や探究、自修学習での活動の充実を図る。
- ・本校の魅力を正確に伝えるため、HPを一層充実させるとともに、中学校生とその保護者への広報にも力を入れていく。